

大粒径アスファルト舗装

NETIS 登録番号：CG-990019-A (NETIS 掲載期間終了)

最大粒径 30mm の骨材を使用し、良好な骨材のかみ合わせ効果により耐流動性・耐摩耗性を向上させた長寿命アスファルト舗装で、トータルコストの低減が可能です。

概要

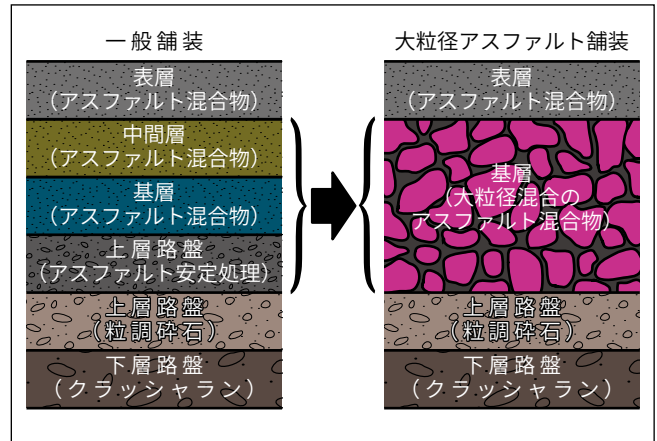
耐流動性・耐摩耗性を向上させたアスファルト舗装です。施工厚を通常の舗装に比べて厚く 10～30cm 施工するシックリフト工法を採用できるため、交通渋滞の原因の一つである舗装打換え工事において、工期短縮が図れ、交通渋滞の緩和に貢献できます。

特長

- ▶ 骨材の最大粒径および粗骨材の占める割合が大きく、良好な骨材のかみ合わせ効果が得られることから、流動わだち、摩耗わだち対策に最適です。
- ▶ 1層が 10～30cm 厚で施工ができるため、通常の 1層 5cm×2～3層での施工に比べて工期の短縮が図れます。

適用場所

- ▶ 大型車が著しく多い重交通道路
- ▶ 舗装打換え工事において、早期交通開放が必要となる道路
- ▷ QRP 工法（急速舗装修繕工法）にも適用可能



標準舗装断面